寝屋川市立池田小学校の教育活動

令和７年５月１日現在

寝屋川市立池田小学校	校長氏名 森　　文子
住所 〒572―0039　　寝屋川市池田2丁目1-7	電　話　　072-838-9751 ＦＡＸ　　072-839-4640

学級数、在籍数

学　年		1	2	3	4	5	6	支援	計
学級数		3	3	3	3	3	2	6	23
児童数 生徒数	男	39	41	42	36	39	25	28	250
	女	41	30	30	42	35	31	12	221
	計	80	71	72	78	74	56	40	471

教育方針　教育目標

【校訓・教育目標】

校　　訓　　「たくましく生きる子」

教育目標　　未来を担う人間性豊かな子どもの育成

～豊かな心で、自ら学び行動し、仲間と共にたくましく伸びる～

【本校のめざす子ども像】

『社会でよりよく生きる力を持つ子』

○人間性豊かな子

集団の中で認め合い、励まし合い、仲間と協力してがんばる子

○強く、たくましく、健康な子

よい生活習慣を身につけた、健康で、たくましい子

○自ら学び考え主体的に学習する子

よく考えて行動し、自分の意見をはっきりもてる子

特色ある教育活動

① 自分と仲間・家族・学校・地域に誇りを持つ子どもの育成に努める。

② 自己有用感・肯定感を向上させるために、児童会活動を活性化し二中生徒会と連携を図る。

③ つながりを大切にする「真心の授業」を通して考えを深め、自ら学ぶ姿勢を育む。

主な行事（月）

4月 入学式・始業式・離任式・1年生を迎える会・家庭訪問　5月 参観・新体力テスト

6月 校外学習・プール開き　7月 個人懇談・終業式　8月 始業式　9月 オープンスクール

10月 運動会・林間　11月 修学旅行・授業参観　12月 個人懇談・終業式

1月 始業式・入学説明会　2月 学習発表会　3月 6年生を送る会・卒業式・修了式

標準服など

ポロシャツ、半ズボン、スカート、（ブレザー、セーター、ベスト）、標準帽、

くつ ＝ 運動靴　かばん ＝ ランドセル等（指定なし）

日課

校　時	時間帯	時間帯（水曜）
健康観察	8:30～ 8:35	8:30～ 8:35
朝の学習	8:35～ 8:45	
第１時限目	8:50～ 9:35	8:40～ 9:25
第２時限目	9:40～10:25	9:30～10:15
中休憩	10:25～10:45	10:15～10:30
第３時限目	10:45～11:30	10:30～11:15
第４時限目	11:35～12:20	11:20～12:05
給　　食	12:20～13:05	12:05～12:50
休　　憩	13:05～13:25	12:50～13:10
清　　掃	13:30～13:50	清掃なし
第５時限目	13:55～14:40	13:10～13:55
第６時限目	14:45～15:30	14:20 下校
完全下校	夏期16:30　冬期16:15	

・授業時間数（時数を記入しています）

学年	月	火	水	木	金	計
1	5	5	5	5	5	25
2	5	5	5	6	5	26
3	5	6	5	6	6	28
4	6	6	5	6	6	29
5	6	6	5	6	6	29
6	6	6	5	6	6	29

・45分単位以外の学習等の特別な活動

朝の学習時間

朝 10 分×4

読書・計算・漢字を各週 1 回

学年裁量の学習を週 1 回

低学年は MIM の取組を含む

令和7年度　双葉学園 池田小学校　学校運営方針

安心して通い、子ども大人もつながり成長を実感できる学校に

～「知っている」から「やってみる」・「わかる」から「できる」へ　行動と達成感で自信を育てる～

《校訓》

たくましく生きる子

《学校教育目標》

未来を担う人間性豊かな子どもの育成

～豊かな心で、自ら学び行動し、仲間と共にたくましく伸びる～

《目ざす子ども像》

社会でよりよく生きる力を持つ子

- 人間性豊かな子
- 強く、たくましく、健康な子
- 自ら学び考え主体的に学習する子

《めざす学校像》

安心して通い、児童も教職員もつながり成長を実感できる学校に

- 安全で、一人ひとりが安心できる居場所があり、自信を育てる学校
- 変化する社会で生きるための力を身に付け、自ら学ぶ児童を育てる学校
- 健康に心身ともに成長できる学校
- 保護者や地域からの信頼に応え、つながり、開かれた学校

《めざす教職員の姿勢》

ゴールを共有し、ステージに応じた活躍でチームとして力を発揮する教職員集団に

- 一人ひとりの良さや可能性を見つけ、全ての児童を伸ばすことができる教職員
- 広い視野と先を見通す力を持ち、細やかな心配りができる教職員
- 学び続ける姿勢を持ち、目標達成のために周囲とつながり明るく前向きに行動できる教職員
- 児童・保護者・地域の思いを誠実に受け止め、信頼される教職員
- 目的意識と時間意識を持って業務を行い、よりよい学校づくりに力を尽くそうとする教職員
- 自分も周りの人も大切にできる教職員（皆で働き方改革推進を）

《目標の具現化のために》

人間性豊かな子どもを育てるために

・高い人権意識を持った教職員集団に、学級・学年に

いじめや差別を絶対に許さない姿勢を　心を動かす人権学習を（体験学習の充実）

・落ち着いて安心できる教室に

きまりを守り当たり前のことがきちんとできる集団に　UD の環境づくり　ごみ一つない教室に

・予防的・開発的生徒指導で自己有用感、自己肯定感の向上を

仲間とつながり、様々な児童が活躍するしかけを（たてわりの活用）積極的に校外の企画にも挑戦を

・道徳教育の充実

自分と向き合い、多様な考え方を認め合う時間に

・ディベート等を取り入れた言語活動の充実

聞く・考える・伝える力をつけ、相手を認める経験を通してあたたかい集団づくりを

・広い視野で物事をとらえ、自分事として考え行動する機会の設定

SDGｓを軸にした総合的な学習や委員会活動、教科横断的な学びの場の充実を

強く、たくましく、健康な子どもを育てるために

・健康な体

食育の推進・健康やいのちの大切さを学ぶ機会や体験を

・健康な心

子どもの小さな変化に気づくアンテナを　課題にはチームで対応を

・体力向上

自分のことを知り、目標に向かって楽しく体を動かし体力をつけるしかけを（運動有能感の活用）

自ら考え、主体的に学習する子どもを育てるために

・「真心の授業」で力をつける

毎時間が真剣勝負　授業改善を通して学力の向上を　全員「わかった」から「できる」に

・ユニバーサルデザインの授業づくりを

目標を提示し、振り返りを行う見通しのある授業を（ねやがわスタンダードの活用）

・仲間とともに学び、自らの考えを伝える力を伸ばす

授業の中に学び合いの場面を効果的に　ICT も活用しながら話し合い、伝え合う活動を

・自立した学習者を育てる

発達段階に応じた自己調整力をつけ、自ら学ぶ・学び続ける姿勢の育成を（モデルの提示）

・授業を開き、ともに授業力向上を

経験者の技の伝達を　教科担任制や全員道徳で、授業のレベルアップと皆で育てる体制を

「池小でよかった」と子どもも保護者も教職員も思える学校に

《本年度の重点目標》

◆自己有用感、自己肯定感を育てる

- クラスで、学年で、授業で、クラブで、委員会で、たてわり活動で、掲示物で…
- しかける　続ける　価値づける

◆誰も取り残さないクラスに　学年に　学校に

- アンテナを高く　～困っていない？　ぼんやりしてない？　何か言おうとしてない？～
- 意識して話をする時間を作る　雑談 time も大切に
- 一緒に遊ぶことで見えてくることも　巻き込むチャンスづくりにも

◆SDGs を軸にした教育活動の推進

- 万博 YEAR を実りあるものに　効果的に事前学習・事後学習を
- 総合的な学習の軸を SDGｓに　「自ら課題を見つける・探求する」活動を
- 授業、各種活動、委員会活動　　学校教育のあらゆる場面に機会はたくさん存在
- ロゴを使うなど、教師も児童も意識できる工夫を

◆自律的学習者の育成

- 自ら学ぶための方法や学び方をスモールステップで指導する
- 学び方を教える　➡　モデルを示す　➡ 自分でやってみる　➡　改善点を一緒に考える
- 中学校に行けば、「自分でやる」ことが当たり前に。小学校でその準備を

◆読書活動の推進

- 「図書」の時間を有効活用　国語や社会など授業と関連付ける　学校司書をうまく活用する
- 「おとどけ Books」の活用を　図書の時間に全員で借りる、教師 ID で学級文庫を借りる

◆運動有能感を活用した体育指導の充実

- 将来にわたって運動を楽しむ力を育てる
- どんな力を伸ばすための運動なのか？　しっかりわかって指導を　しっかり伝えて授業を
- 一人一人が伸びる楽しさを知ることで、学校全体の体力の向上を

◆「働きやすい」「働きがいのある」「笑顔で働ける」学校に

- 誰もが誰かのために頑張る　誰もが一人で頑張ることのない学校に
- 子どもやこれから先生や学校職員をめざす人に「仕事は楽しいよ！」と言える働き方を
- 一人一人がだれかの「目標の人」「あこがれの存在」に
  「あんな先生が目標」「この先生のここを見習いたい」「あんな大人になりたい」